

ESPO

NO. 610

2023.1月25日発行

 宮城県中小企業団体中央会
Miyagi Prefecture Federation of Small Business Associations

「ESPO」とは…フランス語のESPOIR（エスポワール）の略で「希望」の意味です。社会にとって明るく可能性と希望に満ちた存在であり、バイタリティあふれる中小企業を象徴するものとして命名しました。



中央会主催セミナーの開催予定について

(令和4年12月25日現在)

日 時	内容 (テーマ)	会 場
令和5年1月24日 (火) 14:00~16:00	組合運営セミナー (第1回)	テンザホテル 仙台ステーション
令和5年2月2日 (木) 14:00~16:00	組合運営セミナー (第2回) ※第1回と同内容	テンザホテル 仙台ステーション
令和5年2月7日 (火) 10:00~16:30	決算・税務等講習会 (第1回)	仙都会館 8階 会議室
令和5年2月16日 (木) 10:00~16:30	決算・税務等講習会 (第2回) ※第1回と同内容	仙都会館 8階 会議室
令和5年2月24日 (金) 14:00~16:00	組合監事の監査手法講習会	パレスへいあん 5階 エトワール

- 今後、新型コロナウイルス感染症等の状況により予定が変更となる場合があります。その場合は本会ホームページ等で変更等のご案内をさせていただきます。(その時点でお申し込みの受付を終えている方には別途ご連絡を申し上げます。)
- 各セミナーにご参加頂くにあたっては、新型コロナウイルスの感染を防止するために、受付等での「検温の実施」にご協力頂くとともに、会場施設内では「マスクの着用」をお願いいたします。

Contents

02 お知らせ

- 中央会主催セミナーの開催予定について

04 トピックス

- 年頭所感

宮城県中小企業団体中央会 会長 佐藤 勲三郎

宮城県知事 村井 嘉浩 様

宮城県議会議長 菊地 恵一 様

仙台市長 郡 和子 様

仙台市議会議長 赤間 次彦 様

日本銀行仙台支店 支店長 竹内 淳 様

商工中金仙台支店 支店長 鈴木 巖道 様

10 トピックス

- 新年メッセージ

宮城県商店街振興組合連合会 理事長 藤原 直

宮城県官公需適格組合連絡協議会 会長 針生 英一

宮城県中小企業団体事務局長懇話会 会長 高橋 幸悦

みやぎレディース中央会 会長 荒井 美佐子

宮城県中小企業団体青年部連絡協議会 会長 朝比奈 徹

宮城県中小企業組合士会 会長 巖岩 伸好

12 コラム

- 東北の中小企業が今後の自動車産業にかかわるための条件とは

東北学院大学 経営学部経営学科 教授 折橋 伸哉 氏

14 トピックス

- 第74回中小企業団体全国大会 (長崎県) を開催

- 令和元年度補正・令和3年度補正「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」(12次締切)の採択事業者が決定

- 青年部全国講習会に参加・令和5年全国総会が宮城県で開催決定

16 景況レポート

- 令和4年11月分

17 経営相談室

- 組合法解説

18 お知らせ

- 「中小企業DXまるごと相談」事業の実施について
- 「DX」「SDGs」研修会のご案内
- 「業務効率化セミナー」を開催
- 烏兔忽忽……事務局のつぶやき

20 広告

- ポリテクセンター宮城



表紙の写真

伊豆沼

栗原市と登米市にまたがる伊豆沼は、冬の訪れとともに多くの渡り鳥が飛来する越冬地です。毎年、マガンを中心に多くのガンが飛来します。冬の朝、日の出とともに一斉に飛び立ち大空を舞う姿は一見の価値があります。

(写真提供：宮城県観光プロモーション推進室)



年頭所感

宮城県中小企業団体中央会

会長 佐藤 勘三郎

明けましておめでとうございます。

昨年は、ロシアのウクライナ侵攻による原材料・エネルギーの高騰にはじまり、再度の福島県沖地震、コロナ感染の第7波から第8波、急激な円安の進行など先行きが見通せない状況が続き、企業経営や組合運営にとって極めて困難な舵取りを強いられた年でした。

また、地球温暖化の影響が明白になり、猛暑や豪雨災害が頻発、市民の平穏な日常生活が脅かされることが多々ありました。皆様におかれましては、感染対策の継続と社会経済の両立の狭間で苦慮されながら新たな年を迎えられた方が多数おられると存じます。このような困難な状況下においても、本会の事業運営について組合の皆様をはじめ、行政機関・関係機関の方々には多大なご支援ご協力賜りましたことに厚く御礼申し上げます。

さて、政府は令和4年度第二次補正予算で「構造的な賃上げに向けた、成長分野で働くための学び直し（リスキリング）支援」に5年間で1兆円を投入することを決定しました。

私たち中小企業・小規模事業者も、各社が創意工夫と機動力を発揮し、新たな価値を生み出すことにより継続的に発展するための学び直し「リスキリング」が必要不可欠となりました。その上で、もう一度組合組織の原点である相互扶助の精神に立ち返り、相乗効果を発揮することで、組合や連携組織が地域活性化や日本経済回復の原動力になれると信じています。

昨年、宮城県中央会は引き続き「新型コロナウイルス感染症」対策支援や事業再構築補助金の申請支援、ものづくり補助金による生産性の向上支援等を継続するとともに、「3ヶ年計画」に基づく会員組合・傘下企業の持続的発展に向けた支援として、デジタル化支援や活性化支援等の伴走型支援に力を入れて参りました。また、組織強化の新たな取組として、賛助会員制度「NEOバリュー・プラス」を創設するなど、常に現状に満足せずに進化を続け、今後も尚一層、皆様のお力になれるよう役職員一同全力で取り組んで参りたいと存じます。

今年は10月に第75回中小企業団体全国大会を宮城県で開催します。前回は第60回大会（平成20年）で15年ぶり3回目の宮城大会となります。全国から約2,000人をお招きし、次世代放射光施設（ナノテラス）をはじめ、VRやメタバース等の最先端技術に触れて頂き、併せて復興に係る感謝の気持ちをお伝えする大会にしたいと存じます。

また、宮城の文化や自然、水産物、グルメなど多岐にわたる魅力的な観光資源を満喫していただければ幸いです。第75回全国大会〔宮城大会〕が盛大で充実した大会となるよう役職員一同、全力で取り組んで参りますので、皆様の絶大なるご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が活気に満ちた素晴らしい1年となり、皆様の飛躍発展の年となるようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



年頭所感

元気で躍動する 宮城を目指して

宮城県知事

村井 嘉浩 様

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、県民の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。また、昨年7月に発生した大雨により、人命への被害こそ避けられたものの、県北部を中心に大規模な冠水等による被害が生じました。被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

昨年は、宮城県制150周年の節目の年でありました。宮城県制150周年記念事業として、様々な観光キャンペーンや催しを実施し、本県の歴史や伝統、文化を県内外に発信するとともに、郷土への更なる愛着を醸成し、魅力あふれる地域づくりの契機となるよう取り組んでまいりました。また、仙台育英学園高等学校が第104回全国高等学校野球選手権大会において東北勢初となる優勝を果たしました。東北の高校球児が長年にわたり挑戦を続けてきた大きな壁を、チーム一丸となって乗り越えたその姿は、東北全体に大きな感動と希望を与えてくれました。

さて、社会情勢がめまぐるしく変化する中、県政は今、様々な行政課題に直面しており、特に、長期化するコロナ禍と物価高騰は、県民生活と地域経済に深刻な影響を及ぼしています。本県の財政運営は、社会保障関係経費

の増加に加え、新型コロナウイルス感染症や物価高騰への対応等により、依然として予断を許さない状況にありますが、緊急を要する施策については、今後とも柔軟な予算執行に努め、万全の対策を講じてまいりたいと考えております。

今年は「新・宮城の将来ビジョン」の3年目に当たり、本格的な人口減少局面を見据え、次の世代を育成・応援する施策を重点的に推進してまいります。特に、DX（デジタル・トランスフォーメーション）による「変革みやぎ」の実現に向け、あらゆる分野でデジタル技術をフル活用し、県民サービスの向上や県内産業の活性化などを図るとともに、昨年度創設した次世代育成・応援基金を活用した若者の県内定着や子ども・子育てを社会全体で支える環境整備、頻発化・激甚化する自然災害から県民を守るための災害に強い県土づくり等の取組を重点的に推進いたします。

宮城県誕生から150年という長い歴史の中で、先人達が積み重ねてきた志を胸に、宮城の力を成長させ、県民が活躍できる機会と地域の魅力にあふれ、元気で躍動する宮城を目指して取り組んでまいりますので、今後とも御理解と御協力をお願い申し上げます。



年頭所感

宮城県議会議長

菊地 恵 一 様

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃より宮城県議会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、昨年3月の福島県沖を震源とする地震及び7月の県北部を中心とした記録的な豪雨等により、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。

昨年は、第104回全国高等学校野球選手権大会において仙台育英学園高等学校が宮城・東北の悲願であった全国制覇を成し遂げました。また、サッカーワールドカップにおいては、日本代表が激闘の末、ドイツ及びスペインという強豪国を破り躍進するなど、チームが一丸となって戦う姿は、我々に勇気と感動を与えてくれました。

一方で、ロシアのウクライナ侵攻による国際情勢の不安や、それに伴う燃料・資材等の価格高騰、地震や大雨などの甚大な自然災害の発生など、私たちの暮らしや経済活動に大きな影響を及ぼす出来事や社会情勢の変化も少なくありませんでした。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響はいまだに大きく、我が県の産業やなりわいは大きな打撃を受けております。しかし、ここ数年中止されていた行事・イベントの再開や、政府の全国旅行支援が実施されるなど、ウィズコロナの中で社会経済活動の再開の動きが進んだ1年でもあったと思います。

また、昨年は宮城県制150周年の記念すべき年でもありました。明治以降の近代化、戦災と復興、高度経済成長、そして、東日本大震災などの甚大な自然災害など、宮城県は幾多の苦

難や社会情勢の変化に直面しながらも、着実に前進を続け、東北の経済・文化の中心として発展を遂げてまいりました。改めまして150年の重みを実感しますとともに、これまでの先人の努力に敬意を表する次第です。

今後は、本格的な人口減少社会の到来により、社会保障関係費の増加などの影響が宮城県のみならず地方自治体の重要かつ喫緊の課題となっております。このような中、県民ニーズや地域課題は、ますます多様化・複雑化していくと考えられ、県民の様々な意見を県政に反映させることができる県議会の役割は、より一層、重要になっていくと思われま

す。本年は、「新・宮城の将来ビジョン」のスタートから3年目に当たります。

我が県が、次の150年を見据えて持続的に発展していくためには、東日本大震災からの復旧・復興の完遂、新型コロナウイルス感染拡大防止対策と社会経済活動の両立、さらに、あらゆる分野でデジタル技術を最大限に活用しながら、県内産業の活性化を図るとともに、若者の県内定着や子ども・子育てを社会全体で支える環境の整備等に重点的に取り組んでいく必要があります。

県議会としましても、富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進の実現に向けて、原油価格・物価高騰への支援などの喫緊の課題に対して全力で取り組んでまいります。

結びに、本年が会員の皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますことを祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



年頭所感



仙台市長

郡 和 子 様

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より仙台市政に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、宮城県中小企業団体中央会におかれましては、日頃より公的支援策の情報発信や、中小事業者の事業継続に向けた支援など、そのお取り組みに改めて敬意を表するとともに、重ねて御礼申し上げます。

地域経済においては、長引くコロナ禍に加え、エネルギー価格や物価の高騰などの影響により、事業者の皆様を取り巻く環境は、引き続き厳しい状況にあるものと認識しております。

このような状況を踏まえ、本市ではこれまで特別相談窓口を設置し、中小企業の相談に対応してきたほか、信用保証料補給などの金融支援に取り組んでまいりました。また、商店街等での買い回りを通じて、地域全体の消費喚起と各店舗の売上向上につなげるためのデジタルスタンプラリーを現在行っております。

これまでの様々な地域経済の回復への取り組みの中でも、3年ぶりに青葉まつりや七夕まつりが開催され、待ち望んでいた市民や事業者の皆様笑顔が戻るのを見ることができたのは、とりわけ喜ばしい出来事でした。

令和5年度は「杜の都・仙台」が将来に向けて大きく動き出す年となります。仙台のはじまりの地ともいべき青葉山エリアでは、世界最高水準の分析機能を有する次世代放射光施設ナ

ノテラスが稼働するほか、青葉山公園をメイン会場として全国都市緑化仙台フェアが開催されます。そして、青葉山交流広場に複合施設として整備する方針を決定した音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点についても、これまでにない仙台の強みや魅力を相乗的に生み出す施設となるよう、検討を進めているところでございます。

5月には、G7仙台科学技術大臣会合が秋保で開催されます。最先端科学技術を取り入れたまちづくりの取り組みや、東日本大震災からの復興のあゆみと支援に対する世界への感謝を各国の参加者にお伝えするとともに、貴会をはじめ経済界の皆様と一丸となって、仙台・宮城の多彩な観光資源等の魅力を国内外に発信し、ポストコロナにおける交流人口拡大や地域経済の回復に取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続きお力添えを賜りますようお願いいたします。

また、10月には貴会が主催する「中小企業団体全国大会宮城大会」が仙台国際センターにて開催されると伺っております。大会の盛会をお祈り申し上げますとともに、全国から集まる経営者の皆様による交流の拡大と地域経済の活性化につながることをご期待申し上げます。

結びに、宮城県中小企業団体中央会と組合員の皆様益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



年頭所感

仙台市議会議長

赤間次彦様

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

宮城県中小企業団体中央会の皆様には、本市の経済の発展と地域振興に日々ご尽力いただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の第7波において、仙台市内においても感染者数が爆発的に増加し、医療提供体制がひっ迫しました。その後も高止まりしたまま第8波に突入するなど、コロナ禍に翻弄されてきました。また、諸外国による早期のウィズコロナ路線への移行に伴う需要の増加や世界情勢の不安定化などにより、物価や物流費が高騰したまま高止まりし、利益を圧迫するなど、事業者の皆様にとって厳しい経営環境に直面した1年であったことと思います。

令和5年、2023年は本市の地域経済にとって明るい話題があります。一つは、4月26日から6月18日までの期間で開催される「全国都市緑化仙台フェア」です。実に34年ぶりに本市での開催となる本イベントは100万人もの来場者が見込まれる一大イベントであり、全国各地からの来場が期待されます。杜の都と称される緑と都市機能が調和した街並みや震災復興の状況などを体感していただくとともに、宿泊や飲食等の消費を生み出すなど高い経済波及効果が期待されております。

そして、二つ目は、5月12日からの3日間、秋保温泉で開催される「G7仙台科学技術大臣

会合」です。一昨年からの誘致活動に取り組んでまいりましたが、本市の科学技術振興の取り組みなどが評価されたものと嬉しく思います。来年の運用開始を予定している次世代放射光施設「ナノテラス」の存在も当該会合が本市での開催が決定する後押しとなったものと受け止めております。「ナノテラス」はナノスケールの世界を観測できる世界最高水準の巨大な顕微鏡に例えられる施設であります。ごく一部の事業者だけが利用するように思われるかもしれませんが、工業はもちろんのこと、農業や漁業なども含めた幅広い業種で活用ができ、本市においても中小事業者の方々が利用しやすいスキームが検討されているところです。幅広く利用され、仙台から多くのイノベーションが生まれることを願っております。

仙台市議会といたしましても、皆様からお寄せいただく声を市政に届け、雇用や事業継続に必要な支援を進めるとともに、事業者の皆様の経営基盤強化や、データとデジタル技術を活用したデジタルトランスフォーメーション化などによる競争力強化等により、地域全体の持続的な経済成長が図られるよう、必要な議論や提言を行ってまいります。

結びに、本年が皆様にとって大きく飛躍する素晴らしい年となるとともに、宮城県中小企業団体中央会の益々のご発展と、組合員の皆様のご活躍を祈念して、新年のご挨拶といたします。



年頭所感

日本銀行仙台支店

支店長 竹内 淳 様

明けましておめでとうございます。平素より、日本銀行の業務に対して格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、ロシアのウクライナ侵攻、福島県沖地震、落ち着いたかと思えば再び拡大するコロナ感染…と憂鬱なニュースが相次ぎました。経済の面でも、商品市況が高騰、欧米ではインフレが加速し、中央銀行の利上げが続きました。中国では、ゼロコロナ政策を巡って混乱が発生、上海のロックダウン（都市封鎖）は世界中でサプライチェーンの混乱を招きました。わが国でも、円安もあって輸入物価が高進、消費者物価が約40年ぶりの上昇率を記録しました。こうした中、中小企業の皆様は、供給制約、エネルギー・原材料などのコスト増、人手不足などで厳しい環境に直面されたと存じます。

ただ、明るい兆しも窺えます。わが国でも、コロナで落ち込んだ消費が着実に持ち直しつつあり、感染抑制と経済活動の両立が進みます。昨年12月に日本銀行仙台支店が公表した東北地区6県の短観調査では、非製造業を中心に業況が改善し、「良い」と答えた企業の割合が「悪い」を3年ぶりに上回りました。

今年はどんな年でしょうか。IMF（国際通貨基金）は、欧米が累積的な金融引締めやエネルギー不足から0～1%の成長に減速し、不動産不況やコロナ感染で揺れる中国も、潜在成長率を下回る4%台前半の成長に止まると予測します。他方わが国は、0%台前半と推計される潜

在成長率を上回る1.6%の見通しです。海外経済減速から外需が低迷する一方、コロナ感染後の落ち込みからの回復が継続する内需が牽引するシナリオです。日本は、感染リスクに敏感な高齢者の割合が高く、他国よりも長く行動を制限してきた分、我慢した消費（ペントアップ需要）も大きいと思われます。その間、所得は貯蓄に回ってきたため、消費を支える「軍資金」は十分にあります。こうした中、東北地方の景気も緩やかに持ち直しが続くと思予想します。

とはいえ、道のりは平たんとは言い難いです。消費が持続するには、賃金が物価を上回って上昇する必要がありますが、中小企業の多くには容易ではありません。ただ、その間にも人口減少で人手不足は否応なしに深刻化する。となると解決策は、労働者一人一人が産み出す付加価値を賃金上昇分以上に増やす、労働生産性向上しかありません。そのためには、やはりリスクを取って投資を行う、特にITを活用したDXを推進することが重要です。DXのXは、変革を示します。従来のビジネスを効率化するのみならず、新しいビジネスを産み出すことこそが重要です。そのために男女を問わず、若い人に自由な発想でアイデアを募りましょう。彼らが持てる力を存分に発揮するためにも、人材教育をしっかりと進めたいものです。

相場の格言では、本年の干支、卯年は「卯跳ねる」と言います。皆さまにとってその言葉通り、飛躍の一年となることを祈念しています。



年頭所感

商工中金仙台支店

支店長 鈴木 巖 道 様

明けましておめでとうございます。

永年にわたり私ども商工中金仙台支店に対する格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大による行動制限の影響が徐々に和らぐ一方で、急激に進行した円安やウクライナ紛争等に伴う原材料価格の高騰等、国内外の経済に先行きに不透明感が大きく高まりました。さらに、カーボンニュートラルへの対応、自然災害に備えた事業継続計画の策定など、中小企業の経営課題は、従前にも増して多様化してきています。

こうした中、宮城県中小企業団体中央会におかれましては、地域経済の活性化に向けて、公的支援策の情報発信や関係機関との情報交換など、積極的に取り組まれております。また、本年10月、第75回中小企業団体全国大会が宮城県で開催、中小企業者等の発展と連携に貢献すべく、未来に向かい、放射光やメタバース等の最先端技術にも触れる等、学都宮城の強みをどのようにPRしていくか、様々な角度から研鑽を重ねています。この大会を通じ、ここ宮城の豊かな自然資源、美しい街並みを含め、東北のゲートウェイとして期待が高まる国際観光交流の拠点としての潜在的価値を全国に広め、中小企業組合等の連携手法が新しい景色となって発信されることを楽しみにしています。

私ども商工中金は新たな時代に相応しい組織風土・企業文化を形成し、改めて商工中金の存在意義や大切にすべき考え方を共有するために、全役職員が参画のうえ、昨年新たな企業理

念（パーパス）「企業の未来を支えていく。日本を変化につよくなる。」を制定いたしました。このパーパスの実現に向け、2022年度から2024年度までの3年間を計画期間とする中期経営計画を策定いたしました。

具体的には、新たな中経の主要戦略として「サービスのシフト」、「差別化分野の確立」、「企業変革」を設定し、課題解決に向けて取り組むお客様に対して様々な経営リソースを提供することを通じて、総合的な課題解決力を発揮し、変化につよい企業経営をお客様とともに実現してまいります。

こうした取組みに加え、昨年10月、仙台支店独自に「愛すべき『伊達な街、みやぎ』を支えるお客様と、ともに歩み続けるために私たちは全力投球します。」というチームミッションを掲げました。経済や人材交流の要所として歴史的背景のあるこの「伊達な街、みやぎ」において、中央会様をはじめとする多くの支援機関の皆さまと一緒に経営者に寄り添い、密な関係を構築して、誠心誠意、組合運営、企業経営、地域経済等を盛り上げていきたいという想いを込めています。

「中小企業による、中小企業のための金融機関」として、これまで以上にお役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、本年も格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶といたします。

新年メッセージ



宮城県商店街
振興組合連合会
理事長
藤原 直

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃より、会員の皆様や関係機関の皆様には、本連合会の事業運営にあたり、格別なるご支援ご協力を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の流行により、消費者や生活者が集まり、賑わいの場、暮らしの場、コミュニティの場として、街づくりに取り組んできた商店街も大きな影響を受け、「ウィズコロナ・アフターコロナ」を見据えた「新しい様式」への取り組みが求められております。

我々商店街はこのような経営環境の中にあっても、地域経済活性化のため、状況に合わせた事業展開を図り、会員相互の連携を一層強めて参ります。

新年にあたり、会員の皆様のご繁栄とご健勝をご祈念申し上げます。



団体概要

宮城県商店街振興組合連合会

設立：昭和46年8月

会員数：23会員

宮城県商店街振興組合連合会は商店街振興組合法に基づき、商店街振興組合の支援・指導・連絡機関として設立された団体です。



宮城県官公需適格
組合連絡協議会
会長
針生 英一

新年明けましておめでとうございます。

会員そして関係機関の皆様におかれましては、日頃より宮城県官公需適格組合連絡協議会の運営に格別なご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は、私こと全国官公需適格組合連絡協議会の会長に就任いたしました。微力でございますが官公需施策推進の一助となるべく活動して参ります。当協議会においては、新型コロナウイルスの影響を受けましたが、年末には多くの会員参加のもと、受注獲得セミナー、意見交換会を開催することができました。運営面におきましては、新たに1組合が官公需証明を取得し、会員として迎え入れることができました。

今年は新型コロナウイルスが収束に向かい、本格的な経済活動の再開が期待されますが、適格組合に対する優先発注等を働きかけ、会員組合の受注環境の整備、受注機会の増大を実現するためにも、官公需適格組合が、発注機関の信頼に十分に答えられることができる共同受注事業体であり続けなければなりません。協議会では情報発信力、政策提言力を強化するとともに、引き続き研鑽の場を提供して、会員の皆様の更なる発展のため活動して参ります。

会員の皆様のご活躍を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。本年も何卒よろしくお祈り申し上げます。

団体概要

宮城県官公需適格組合連絡協議会

設立：平成8年9月

会員数：45会員

宮城県官公需適格組合連絡協議会は、官公需適格組合の証明を取得している、若しくは取得を目指している組合で組織された団体で、会員間の情報交換や会員組合の受注確保、拡大のため各種事業を展開しております。



宮城県中小企業団体
事務局長懇話会
会長
高橋 幸悦

新年明けましておめでとうございます

謹んで新春のお慶びを申し上げます

大内 仁会長（宮城県中小企業団体中央会専務理事）の後任として昨年7月5日に会長に就任し6ヶ月が経ちました。

昭和58年に事務局長懇話会に加入してから、多くの会員の皆さまと交流してまいりましたが、最近では、新型コロナウイルス感染症の感染リスク回避のため、事務局長懇話会の目的である視察研修や講習会を通じた知識向上の機会や情報交換の場の提供が難しい状況が続いています。新型コロナウイルス感染症の早期終息と経済回復を強く願うとともに、感染状況を見極めながら、多くの会員の皆さまに参加していただける事業を企画してまいります。

会員の皆さまのご健康と今後益々のご活躍を心より祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

団体概要

宮城県中小企業団体事務局長懇話会

設立：昭和46年8月

会員数：62名

宮城県中小企業団体事務局長懇話会は、組合の事務局長代表者が相互に緊密な連絡をとり、事務局を強化し、組合運営に寄与する事を目的として設立された団体で以下のスローガンのもと活動しております。

〈スローガン〉

- 事務局長は、組合活動に信念を持って！
- 事務局長は、
全組合員に頼られる存在たれ！
- 事務局長は、
組合のシンクタンクであれ！
- 事務局長は、事務局を強化確立せよ！



みやぎレディース
中央会
会長
荒井 美佐子

明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

宮城県中小企業団体中央会の佐藤会長様をはじめ、関係機関の皆様には、日頃よりご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、「仙台まちなか女子部」とのコラボ企画「仙台おもてなしツアー」実施に協力して、会員の「和と輪」のつながりを内外に拡げる事が出来ました。

三年ぶりに開催された全国フォーラム青森大会では、平賀名誉会長が表彰され、全国の会員と交流出来た実りある会となりました。

国内の新型コロナウイルス感染状況が新たな局面を迎えて、日常生活が大きな変化を遂げておりますが、ウィズコロナの活動を活発に更に充実させ、女性経営者の学びと交流を深めて参る所存です。今後とも、一層のご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。

新年が皆様にとり輝かしい年でありますよう、心よりご祈念申し上げます。



団体概要

みやぎレディース中央会

設立：平成12年8月

会員数：48名

企業経営や組合活動に携わる女性とその斬新な英知を結集し、持前の感性と底力を十二分に発揮できる環境づくりを進めるため、女性経営者等の情報交換・連携促進、各種研修等を行う団体です。



宮城県中小企業団体
青年部連絡協議会
会長
朝比奈 徹

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

コロナウイルス感染症拡大の影響により3年間という長い活動休止期間を経て、昨年は感染対策を徹底しつつ、ウィズコロナの新しい生活様式を実践しながら活動を再開することができました。ひとえに会員皆様のご理解とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

大須賀前会長から引き継ぎ、今期より青連協の会長職を務めさせていただくこととなりました。身に余る大役ですが、歴代の会長並びに会員の皆様が築いてきた連携の輪を更に大きく広げていけるよう、青連協の魅力づくりに取り組んでまいります。

また、今年6月には全国中小企業青年中央会の通常総会が、ここ宮城で開催されます。

この3年で蓄えられた、宮城並びに全国青年経営者皆様の思いを繋げて大きな力に変え、これからの未来を創る契機にしたいと考えております。何卒ご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新年を迎え、皆様のご健勝と益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。



団体概要

宮城県中小企業団体青年部連絡協議会

設立：昭和51年9月

会員数：43団体

宮城県中小企業団体青年部連絡協議会は、次代を担う若手経営者、後継者の育成・親睦・交流を図るために設立された団体です。



宮城県中小企業
組合士会
会長
爰岩 伸好

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

この度、第45期通常総会並びに第1回理事会において、松下隆前会長の後任として会長に選任されました。組合士会会長として重責を担うこととなり、身の引き締まる思いでこの役職を遂行して参りたいと思っておりますので、皆様ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

昨年も新型コロナウイルスの感染拡大により、事業活動の大部分を自粛せざるを得ない一年となりましたが、このような状況の中、令和3年度は本会が今後どのような活動に注力すべきか、本会会員を対象に組合士実態調査を実施いたしました。その中で会員の高齢化が進行していることから、若年層に対する組合検定試験の勧奨を進めていくとともに、組合士制度は他の資格制度と比較しても組合並びに役員の方々への認知度が不足しているため、組合士制度のPR活動を推進して参りたいと考えています。

また、本年も昨年同様、コロナ感染の収束が見通せない状況ではありますが、組合業務に関する会計、税務、法務等の研修や会員間の親睦など、情報交換の場を提供できるよう努めて参ります。

会員の皆様のご健勝とご活躍を心よりご祈念申し上げます。

団体概要

宮城県中小企業組合士会

設立：昭和53年11月

会員数：34名

宮城県中小企業組合士会は、組合運営のエキスパートである組合士同士の結合体であり、中小企業等組合の発展と組織強化、事務局の資質向上を目的として設立された団体です。

東北の中小企業が今後の自動車産業にかかわるための条件とは

東北学院大学 経営学部経営学科
教授 折橋 伸哉 氏

自動車産業は日本経済の牽引役であり、今後もそうした役割を担っていくことが期待されている。

折橋(2013)では、内燃機関自動車を中心とした既存パラダイム、そして自動車部品の製造業者としての参入を前提としつつ、東北の中小企業がその自動車産業に参入するための条件について論じた。要約すると、第一に現場能力を高めQCD(Quality・Cost・Delivery)の全てにおいて安定的かつ高水準を達成したうえで、開発能力の獲得も目指すこと。第二にヒトの面では、経営者の自動車産業への理解を深めて意識変革を促すとともに、現場作業員や現場管理者、そしてエンジニアの質量両面の確保を図ること。これら二点を重要であるとした。

しかし、前号で述べた通り、自動車産業は今まさにパラダイムシフトに差し掛かっている。そのため、新たに参入を目指す中小企業にはもちろん、既に参入している中小企業にもパラダイムシフトを先取りした取り組みが求められている。新たなパラダイムについては現在進行形で模索が続いているが、東北の中小企業がそこに参画できる余地は果たしてあるのだろうか。この問いに対し、二つの側面から考えていきたい。

「ものづくり」での可能性

まずは、私自身がこれまで注目してきた「ものづくり」の側面について考えてみる。自動車というハードウェアは、間違いなく今後も生産され続けるであろう。また、日本でも本田技研工業が開発を進めている「空飛ぶクルマ」(電動垂直離着陸機、eVTOL)が実用化に近づいており、今後ビジネスとしての立ち上がりを見せ、ハードの生産が始まることも予想される。しかし…。

第一に、自動車が今後とも緻密な擦り合わせを経たインテグラルな設計思想(アーキテクチャ)に基づき、大小何万もの部品を組み上げたうえで成り立つ製品であり続けるという保証は全くない。

従来の業界の常識を覆す試みの一例を挙げると、米

テスラは「ギガプレス」を使い、これまで多数のプレス部品を溶接して製造してきたリアシャーシなどを、アルミ特殊合金の鋳造品として一体成型している。これによってテスラは大幅なコスト削減・軽量化を実現した。しかし、この事実を小型プレス機で部品を製造・納入してきた中小企業の立場から考えると、ギガプレスの普及は即ち仕事の喪失を意味する。テスラの動きなどを受けてトヨタ自動車も、内燃機関搭載車向けの車台「TNGA」をベースに、それらと混流生産できるように電気自動車向けに開発したばかりの車台「e-TNGA」の全面的な見直しに着手したと言う(2022年10月24日 ロイター通信報道)。これはもはや対岸の火事ではない。トヨタのことである、テスラ車を徹底的にベンチマークしたうえで、テスラを上回る規模で設計の簡素化・合理化を進める可能性は大いにある。「ギガプレス」などの巨大な設備で生産するようになった部品については、投資規模からも製品の輸送性からも、もはや中小企業の出番は無いだろう。

第二に、人が運転する以上の安全性が担保された完全自動運転が実現した暁には、理論上は事故が無くなる。すなわち、衝突安全性関連の部品が不要になる可能性も考えられる。

第三に、電動化が一層進む場合、内燃機関関連の部品自体が不要になる。

第一から第三までを念頭におくと、自動車を構成する部品点数が大幅に減少することが予想される。削減の対象となるリスクがある部品の製造を現に担っている中小企業は、他産業への転換も含めた対応策の検討に入った方が良いでしょう。次世代自動車からの参入を狙っている中小製造企業に関しても、中小部品かつ削減の余地のない部品を狙っていくべきだ。

そして第四に、これからの自動車販売台数、すなわち自動車産業への参入が持つビジネス上の魅力についても考慮しておく必要がある。設計の合理化や製造プロセスの革新などのイノベーションにより、車両価格を現状と同程度に抑えることができる場合、自家用車を中心とした使われ方が続き、販売台数の大幅な減少

は免れるかもしれない。しかしながら実際には、素材価格や人件費の高騰などから、短期的にはもちろん中長期的にも車両価格は大幅に上昇する可能性が高い。その場合、経済合理性の観点から自家用車からシェアリング、MaaSなどへの移行が急速に進み、自動車一台あたりの稼働率が飛躍的に高まる反面、移動需要が一定だとすると自動車販売台数は大幅に減少する。その結果として、自動車部品生産のビジネスとしての魅力は大きく低下するだろう。

このように見ていくと、自動車関連産業のものづくり分野については、既存の受注を喪失するリスクが大いにある一方で、新規受注を獲得できる可能性は極めて限られていると予想される。電動垂直離着陸機に関しても、サプライヤー候補企業も参画しながら既に試作段階にまで到達しており、新たな参入を目指すのは至難である。

「MaaS(Mobility as a Service)」での可能性

昨今しばしば耳にする「MaaS」という言葉にも表れているように、収益を得られるポイントは、ついに自動車産業においてもハードからソフトへ移行すると考える。周知の通り、電機産業などでは既にこの動きが進行している。それに伴い、ビジネスモデルの巧拙やソフトウェアの開発能力が成否を分ける傾向がより強まることが予想される。このことにより、東北の中小企業にとっては参入へのハードルが低くなることが期待できよう。

折橋(2021)では、高齢化の「世界最先端」をひた走る東北の現状を逆手に取り、東北大学をはじめとする東北の研究機関が持つ技術シーズを足掛かりに、東北の次世代自動車産業への貢献可能性を探ることを提案した。すなわち、著しく高齢化が進んだ過疎地域に

も相応しい、低コストかつ高齢者などの交通弱者にも優しいモビリティサービスの実験場として域内の過疎地域を活用してもらい、その実証実験に東北の中小企業や人材も参画できないか、と考えたのである。

この考えの背景には、コロナ禍によりイノベーションでもバーチャルへの移行が一層進んだ反面、バーチャルの限界もまた明確になったことがある。方向性がある程度定まった後のルーチン的な作業では、バーチャルで足りることが多い。その反面、確たる方向性が定まっていない場合には、バーチャルのみではイノベーションは完結せず、「現場」との物理的な近接が一定の優位性をもたらすと考えられるからである。これまで述べてきたように、次世代のモビリティについては確たる方向性が定まっていない点が多い。「現場」が東北に来ることにより、東北に一定の優位性がもたらされることが期待できる。

もちろん、既に世界中で多様な試みが行われていて、厳しい競争が予想され、参入への道のりは決して平坦ではない。だが、世界各地で繰り広げられる試みについての情報収集を怠りなく進めたいと、MaaSにおいて自社の経営資源を活用できる可能性を見出し、関連する技術シーズを持つ研究機関などと連携しながら果敢に挑戦するという経営姿勢を貫いていけば、そこにチャンスはあるのではないだろうか。米アップルやシリコンバレーのスタートアップの多くが証明するように、卓越したアイデアさえあればファブレスでも成功できるのだから。

参考文献

折橋伸哉・目代武史・村山貴俊編著『東北地方と自動車産業－トヨタ第3の拠点をめぐって－』

創成社、2013年。

折橋伸哉編著『自動車産業のパラダイムシフトと地域』創成社、2021年。

〈略歴〉

岡山県出身。父親の仕事の関係で、東京、千葉、広島での生活を経て、東京大学で経営学を学び、2003年東京大学大学院経済学研究科博士後期課程を満期退学(2007年に修了、博士(経済学)取得)。同年に東北学院大学経済学部経営学科に着任する(2010年より経営学部経営学科)。タイをはじめとする東南アジア、台湾、インドなどにおける日系自動車メーカーの経営管理・経営戦略を主に研究してきたが、その知見を活かして地域に貢献すべく、東北地方における自動車産業振興における課題と処方箋についても探究を始めた。東北学院大学東北産業経済研究所・経営研究所主催にて関連テーマのシンポジウムを幾度も開催すると共に、関連する書籍を2013年(『東北地方と自動車産業』(共編著、創成社))、2021年(『自動車産業のパラダイムシフトと地域』(編著、創成社))に上梓している。



第74回中小企業団体全国大会（長崎県）を開催

全国中小企業団体中央会・長崎県中小企業団体中央会主催による、中小企業団体全国大会が11月10日（木）出島メッセ長崎において全国から約2,000名が参集し開催されました。74回を迎えた本大会では『つながる ひろげる 連携の架け橋～希望の未来 中小企業「光」を結集～』をテーマに、「成長と分配を実現させる中小・小規模事業者対策の強化」「高騰するエネルギー・原材料価格の適正な転嫁と安定供給の拡充」「未来への変革・挑戦を可能とする投資促進対策の拡充」「震災復興・豪雨・風水害対策の拡充」「地域の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進」「中小企業組合等連携組織対策の拡充」をスローガンに、中小企業組合等連携組織の強みを最大限に発揮し、極めて厳しい経営環境を克服するために一歩でも前に力強く前進すべく14項目の決議案が満場の賛同を得て採択されました。

併せて、優良組合、組合功労者、中央会優秀専従者の表彰も行われ、宮城県からは組合功労者2名の受賞がございました。誠にありがとうございます。

組合功労者

- ・サンモール一番町商店街振興組合 理事長 藤原 直 様
- ・仙台水産物商業協同組合 副理事長 伊藤 正博 様

また、次回の開催地については、令和5年10月11日（水）仙台国際センター展示棟において開催されることが発表されました。15年ぶりとなる地元宮城県での大会開催を成功に繋げるため、多数のご参加、ご協力宜しくお願いいたします。



第74回中小企業団体全国大会決議

I. 中小企業・小規模事業者等の

経営強靱化・成長促進支援等の拡充

1. 現下の危機的課題克服に向けた経済再生支援策の拡充強化
2. 中小企業・小規模事業者の成長促進、持続的発展に向けた支援強化
3. 中小企業団体中央会の指導體制・支援機能の抜本的強化、中小企業組合制度の拡充・改善
4. 地域経済の好循環の推進、地域課題の解決

II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた

労働・雇用・社会保険料対策の推進

1. 中小企業の人材育成・確保・定着対策

2. 新型コロナウイルス感染症の影響長期化に配慮した社会保障制度の見直し

3. 外国人技能実習制度と特定技能の見直し

III. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

1. 中小企業金融施策の拡充
2. 中小企業・組合税制の拡充
3. 中小製造業等の持続的発展の推進
4. エネルギー・環境対応への支援の拡充
5. 卸売・小売業・まちづくりの推進に対する支援の拡充
6. サービス業支援の強化・拡充
7. 官公需対策の強力な推進

令和元年度補正・令和3年度補正「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」(12次締切)の採択事業者が決定

本事業は、中小企業・小規模事業者等が今後複数年にわたり相次いで直面する制度変更(働き方改革や被用者保険の適用拡大、賃上げ、インボイス導入等)等に対応するため、中小企業・小規模事業者等が取り組む革新的サービス開発・試作品開発・生産プロセスの改善を行うための設備投資等を支援するものです。

12次締切につきましては、令和4年8月18日から令和4年10月24日までの期間において公募を行ったところ、全国で3,256者からの申請がありました。全国採択審査委員会において厳正な審査を行った結果、このうち、1,907者(宮城県19者)を採択することといたしました。

商号又は名称	事業計画名
株式会社セーフティー	ブランドマーク(眼帯)の材質変更と処理能力UPで注文増加に対応
池田量工業株式会社	平面から立体への藁草の需要を引き出す事業
玉川電器株式会社	自動印刷設備導入による生産性向上と事業拡大の計画
有限会社三和建装工業所	環境負荷低減を実現する循環式プラスチック工法の確立
有限会社渡辺動物病院	県内の獣医療界の外科治療水準を牽引する一次診療所の誕生
金の井酒造株式会社	季節限定「四季綿」シリーズの品質強化と小ロット生産体制の構築
株式会社インテクス	3軸NCルーターの導入によるケイカル板加工の生産性向上
株式会社鈴木アド・プロセス	染料印刷の生産体制確立によるアパレル市場への参入
有限会社司製茶仙台	世界のティーバック市場におけるお茶の拡販を目指す設備導入事業
株式会社永瀬商店	新設備導入による生産性改善及び、量需要の創造と拡大
グローテック株式会社	加工品内作率向上による「汎用自動化 ASSY ライン」のコストダウンとLT削減による競争力強化
株式会社戸引製畳	抗菌抗カビの薄い畳生産とIoT制御による売上付加価値拡大
城南鋼鐵工業株式会社	自動ロッカー搬送ライン導入による生産性の向上
株式会社ビック・ママ	新お直しシステム導入によるお直し店舗受付サービス品質と生産性の向上
株式会社はむ	キャットフレンドリー対応と専門医療の高度化で需要を最大化する
KFアテイン株式会社	部品専用塗装設備導入による生産性2倍アップのトラックシャーシ防錆塗装事業
Enter株式会社	金型開発による顧客ニーズに対応した「めかぶ」特殊容器の販売
株式会社利久	新生産方式による宮城の食財資源を活用したビールの量産化の実現
株式会社今野製作所	機械導入で溶接工程の高度化を図り課題解決と生産性向上を目指す

お問い合わせ先

ものづくり補助金サポートセンター TEL 050-8880-4053 (平日10:00~12:00/13:00~17:00(土日祝日を除く))
宮城県中小企業団体中央会 ものづくり補助金宮城県地域事務局 TEL 022-222-5266又は022-222-5560 (平日9:00~17:00)

青年部全国講習会に参加・令和5年全国総会が宮城県で開催決定

全国中小企業青年中央会の2022年度全国講習会が、11月25日(金)に滋賀県にあるびわ湖大津プリンスホテルにおいて開催されました。講演会は二部構成となり、第一部では、滋賀県の地元企業でありアウトドア衣料製品を扱う株式会社ナンガの代表取締役 横田 智之氏をお招きし、「事業承継」をテーマに講演が行われました。第二部では、「事・業・承・継～あなたのお悩み聞かせてください～」と題し、ミライ

WOつなぐ経営研究所代表 魚路剛司氏と7名のパネラーによるパネルディスカッションが行われました。

交流懇親会において、来年度(令和5年度)全国総会の開催地が宮城県に決定したことが発表され、宮城県中小企業団体青年部連絡協議会として宮城の魅力をPRし、多くの方々に参加していただけるように呼びかけ、大盛況の内に終了しました。



- 情報連絡員による令和4年11月の県内中小企業の景況報告は、業界全体として「好転」が7.3%、「不変」が65.9%、「悪化」が26.8%、業界全体の「景況感DI」は-26.8%ポイント（前月比-17.1）となった。
- 感染状況の沈静化、人流回復等による需要増により、各業種でプラスの要因はあるものの、電力等のエネルギー・原材料価格の高騰、価格転嫁の遅れ、部品・人手不足等による納期遅延等により、大半の指標が低下した。
- 感染状況や来年度以降の見通しに関する不透明感、後継者難を理由に廃業する組合員も散見される等、先行きを懸念する声も多い。

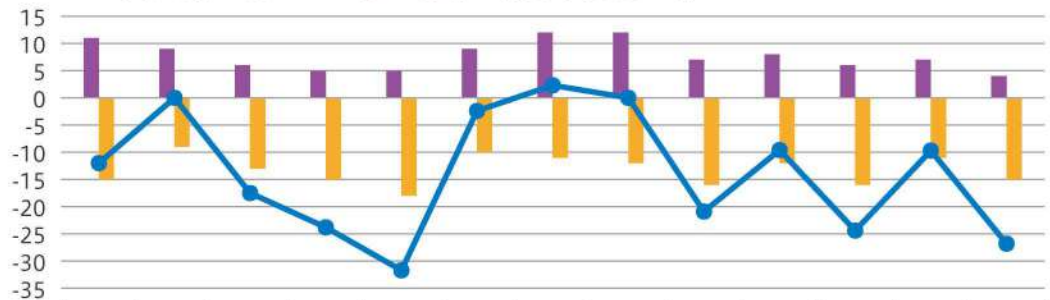
情報連絡員報告をもとに景況についてDI値を作成しました。業界の景況についての項目を「好転」割合から「悪化」割合を引いた値をもとに作成し、その基準は右記のとおりです。

30以上	10～30未満	10未満～△10	△10超～△30未満	△30以下
				
快晴	晴れ	くもり	雨	大雨

県内の景況天気図（前月比DI値）

	売上高	収益状況	県内の景況
製造業	 21	 △29	 △7
非製造業	 △11	 △22	 △26

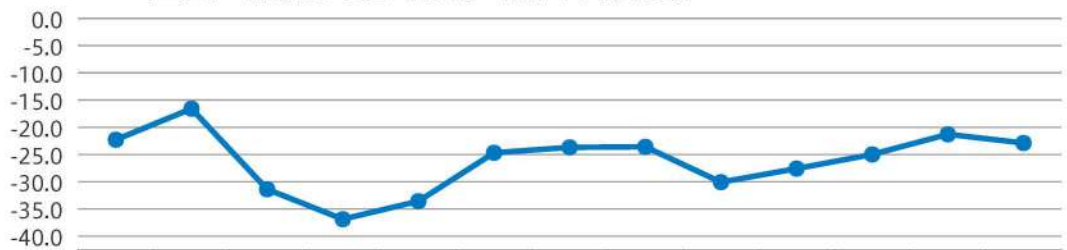
宮城県 景況DI値の推移【前年同月比】



	R3年11月	R3年12月	R4年1月	R4年2月	R4年3月	R4年4月	R4年5月	R4年6月	R4年7月	R4年8月	R4年9月	R4年10月	R4年11月
好転	11	9	6	5	5	9	12	12	7	8	6	7	4
悪化	15	9	13	15	18	10	11	12	16	12	16	11	15
業界の景況【前年同月比】	-12.0	0.0	-17.5	-23.8	-31.7	-2.4	2.3	0.0	-20.9	-9.6	-24.4	-9.7	-26.8

好転 悪化 業界の景況【前年同月比】

全国 景況DI値の推移【前年同月比】



	R3年11月	R3年12月	R4年1月	R4年2月	R4年3月	R4年4月	R4年5月	R4年6月	R4年7月	R4年8月	R4年9月	R4年10月	R4年11月
業界の景況【前年同月比】	-22.3	-16.6	-31.4	-36.9	-33.6	-24.7	-23.7	-23.6	-30.1	-27.6	-25.0	-21.3	-22.9

業界の景況【前年同月比】

各業界の詳細（前年同月比、業界の動き）が必要な方は本会までご連絡ください。

経営相談室

こんなときどうする？（組合法解説 Vol : 5）

今回は、担当組合から実際にあったレアケースなご質問を3つご紹介したいと思います。

問1：A氏は個人で事業を営んでいるとともに、法人企業2社の代表取締役を務め、そのいずれもB組合に加入しています。A氏がB組合の総会に出席した場合、与えられる議決権・選挙権は何票でしょうか？

答：個人事業主1社分+法人企業2社分=計3票

解説：組合員は、出資口数の多寡、事業規模の大小等に関係なく、議決権・選挙権は平等に1票与えられています。法人たる組合員（会社等）の場合は、法人格があるかぎり、代表者が同一であっても議決権、選挙権はそれぞれに与えられます。

また、自然人たる組合員（個人事業者）は、「自然人」その者が組合員となります。この場合は、個人と法人を併せて議決権、選挙権は3票ずつとなります。

※自然人とは……（権利義務の主体である）生きている自然人

問2：C株式会社の代表取締役D氏は、都合によりB組合の総会に出席できません。親族である妻（専業主婦）を代理人として総会に出席させることはできるでしょうか？

答：できません。

解説：法人自体（会社等）が組合員であり、個人組合員と違い、法人（会社等）には親族という概念がありません。この場合、代表取締役の配偶者や子供であっても、法人の使用人でなければ、代理人となることはできません。

※なお、法人である組合員の代表権を有しない役員については、使用人兼務の取締役（社内取締役）だけが代理人となりうるようになります。

問3：総会において、理事を連記式無記名投票による選挙、監事を指名推薦の方法によるなど、理事及び監事を別々の方法で選ぶことはできますか？

答：できます。

解説：ほとんどの組合は、役員を同じ方法で選出されているかと思いますが、理事・監事を異なる方法で選出することも可能です。

また、最後に間違いやすい総会議事録等での表記（漢字）をチェックしておきましょう。

指名推薦 ○ → 指名推薦 ×、氏名推薦 ×
招集 ○ → 召集 ×
損失処理案 ○ → 損失処分案 ×、損失金処理案 ×
全員異議無く ○ → 全員意義無く ×
残任期間 ○ → 残忍期間 ×
貸借対照表 ○ → 賃借対象表 ×

参考：中小企業等協同組合法

（議決権及び選挙権）※抜粋

第十一条 組合員は、各々一個の議決権及び役員又は総代の選挙権を有する。

2 組合員は、定款の定めるところにより、第四十九条第一項の規定によりあらかじめ通知のあった事項につき、書面又は代理人をもって、議決権又は選挙権を行うことができる。この場合は、その組合員の親族若しくは使用人又は他の組合員でなければ、代理人となることができない。

「中小企業DXまるごと相談」事業の実施について

本会では、組合及び中小企業各社がDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進する際の課題や困りごとを気軽に相談できる「中小企業DXまるごと相談」事業を12月12日から開始しました。

本事業は、本会の会員組合および組合員企業各社を対象に経営課題に関するアンケート調査を実施し、ご回答いただいた

た経営課題に対してデジタル化などのIT関連技術を活用して効率的・効果的に課題解決につなげることを目的としております。

この取り組みは、NTTアドバンステクノロジー株式会社（本社：東京）及び全国中小企業団体中央会と連携して実施しており、今後は全国への展開も検討されています。



宮城県中央会・ポリテクセンター宮城 共催事業がスタート 「DX」「SDGs」研修会のご案内 ～中央会は皆様のリスクリングを応援します～

宮城県中央会では、会員組合等に対するリスクリング支援の一環として、企業が生産性を向上させるために必要な知識を習得するため、ポリテクセンター宮城と連携し、下記テーマに絞って研修会を実施します。是非ご活用下さい。

《DX（デジタルトランスフォーメーション）の導入》

日時：令和5年2月21日（火）9：30～16：30

場所：宮城県商工振興センター2階会議室（定員15人）

《ビジネスとSDGs（持続可能な開発目標）の融合》

日時：令和5年3月3日（金）9：30～16：30

場所：宮城県商工振興センター2階会議室（定員15人）

カリキュラム（演習あり）	
■ DX導入手法とデジタル技術の活用	・ DXの概要 ・ スマート工場の作り方
■ DX導入手順	・ ビジネスモデルと事業戦略 ・ ビジネスモデルの事例【演習あり】
■ システム開発手法	・ アジャイル開発の概要とプロセス ・ アジャイル開発の進め方
■ DX推進検証	・ DX導入手順の概要 ・ ビジネスプロセスモデリング ・ 事例紹介【演習あり】
■ 演習 ■ 応用・実践練習	

※参加料 1人 3,300円

なお、本事業は令和5年度も継続し、組合ごとの研修も実施できます。ぜひ、ご相談ください。

カリキュラム（演習あり）	
■ SDGsの概要	・ SDGsを正しく知る ～SDGsは世界共通の目標であり共通ルール
■ SDGsの取組	・ SDGs時代を見据えた環境分析 ～2030sの時代を先取る企業になる
■ 開発目標の戦略	・ SDGs経営の実現 ～自部門（自組織）の優先課題を特定する ・ SDGsを取り入れた経営企画 ～自部門（自組織）で取り組むSDGsを考える
■ 演習 ■ 応用・実践練習	

※参加料 1人 3,300円

お問い合わせ

宮城職業能力開発センター（ポリテクセンター宮城）
生産性向上人材育成支援センター
〒985-8550 多賀城市明月2-2-1
TEL：022-362-2604 FAX：022-364-2651

「業務効率化セミナー」を開催

11月24日(木)、パレスへいあん(仙台市青葉区)において、「業務効率化セミナー」を開催致しました。

本セミナーには、会場参加23名、動画視聴参加27名の多数の皆様のご参加をいただきました。

講師には、合同会社BPRサービス 代表 岡部 吉成 氏をお招きし、業務効率化を進める上での「考え方」や「進め方のポイント」について取組事例を交えながら解説いただきました。

参加者からは、「業務改善・効率化する意識が重要だと分かった」、「業務効率化とDXはイコールではないことが分かった」「まずはペーパーレスから進めていきたい」、「事例から実務の進め方がイメージできた」などの評価をいただきました。

業務プロセスから「ムダ・ムリ・ムラ」を省き、効率化を図ることは、人手不足に悩む中小企業の経営改善になるだけでなく、社員のモチベーションアップにも繋がります。

まずは、ペーパーレス化などの「できること」から始めていき、部分的な効率化を一歩ずつ着実に進めていきましょう。



column

Vol. 6

烏兎忽忽……事務局のつぶやき

- ❖ 2023年10月に導入されるインボイス制度で、小規模事業者向けの負担軽減措置が講じられた。中身は納税額を売上時の税額の2割に抑える特例を23年10月から3年間設ける。また、買い手の事務負担軽減策として、売上高1億円以下の事業者が1万円未満の商品を買う場合にはインボイスが無くても仕入時の税額控除が受けられるようにする(6年間の激変緩和措置)。政府は、会計ソフト導入に使える補助金を用意し、今後、手作業がいらぬデジタルインボイスが広がれば、小規模事業者の事務負担を緩和できるとみる。中央会は組合・企業に混乱が起きないようにインボイス対策に係る支援を強化します。
- ❖ 政府の総合経済対策に、賃上げや成長力の強化に向けて「リスクリング」を推進していくことが盛り込まれた。「リスクリング」とは、新しい職業に就いたり、成長が見込まれる社内の新たな業務に当たるための必要なスキルを身につけること。デジタル技術など仕事の進め方を大幅に変えるスキルを習得することで、新たな価値が生み出され、企業の生産性や収益が向上し賃上げを伴う労働移動も進むとされている。政府はこれまで「リスクリング」など「人への投資」に3年間で4000億円を投じるとしてきたが、総合経済対策では5年間で1兆円に拡充するとしている。中央会はポリテクセンター宮城と連携し、DX、SDGsに特化した研修を継続的に実施します。是非ご利用下さい。

- ❖ 2019年の台風19号で被災した登米市「道の駅津山」もくもくランドが復旧工事を終え1月2日にグランドオープンした。復旧を待ちわびた市民、観光客が次々に訪れ買い物を楽しんだ。組合では改修工事で建物全体を1mかさ上げし、同規模の洪水が発生した場合でも被害を最小限にとどめる工夫をしたほか、冷暖房を木材チップで稼働するシステムを導入し、近隣の間伐材で燃料を賄う。3年ぶりに営業を再開した店舗は、多彩な木工芸品がところ狭しと並んでいます。是非足をお運びください。
- ❖ 昨年、日本三景松島の海岸沿い、国道45号線の一部を歩行者天国にする交通社会実験が行われた。この実験は、慢性的な渋滞の解消や観光客の利便性向上を図るため、宮城県や松島町などで作る協議会が実施した。期間中、松島町中心部の国道約250mが歩行者天国となり、テーブルなどが並べられ、訪れた観光客は座って寛いだり、飲食や写真撮影などを楽しんでいた。県の道路課は、期間中実施したアンケート結果を基に今後の取組みに反映させるとしている。松島の新たな魅力や楽しみ方が増えることを期待したい。
- ❖ 宮城県中央会では、より多くの企業・組合がDXを取り入れられるよう3ヶ年計画(令和3年4月~令和6年3月)の中で、デジタル化推進事業を進めています。今回「中小企業DXまるごと相談(仮称)」を実施し、NTT-ATと共に、宮城県中央会の会員組合および組合員企業におけるDX推進を加速させていきたいと考えています。2月28日(火)までお悩み・相談等のアンケートを実施しています。是非ご利用下さい。

スキルアップ研修 能力開発セミナー

人材を
人財に



機械分野

機械加工、溶接、機械設計・製図、
精密測定、CAD/CAM



電気分野

電気工事、ネットワーク・通信施工、
PLC、電気保全



電子・情報分野

電子回路、組込み、プログラミング、
IoT、システム開発



建築分野

建築CAD、木造建築、BIM、
建築測量、ビル管理保守



管理分野

品質管理、現場改善



研修に関するご相談はポリテクセンターへ
お気軽にご連絡ください!



ポリテクセンター宮城 (宮城職業能力開発促進センター)

〒985-8550 宮城県多賀城市明月2-2-1
TEL 022-362-2544

<https://www3.jeed.go.jp/miyagi/poly/zaishoku/>

ポリテク宮城 セミナー



ポリテクセンター宮城は、職業能力開発促進法により厚生労働省が所管する公共職業能力開発施設です。

まずはお気軽にお問い合わせください!

定価 100円

会員については会費に含まれています。

発行所/宮城県中小企業団体中央会
仙台市青葉区上杉一丁目14番2号

TEL.022-222-5560 FAX.022-222-5557
<http://www.chuokai-miyagi.or.jp>